

## ドライバーの安全運転を支援するウェアラブルセンサー

フィーリズム

# FEELythm

約94gの軽量設計  
音声/振動で選べる通知方法  
長時間使用可能なバッテリー  
(連続45時間使用可能)



DESIGN  
AWARD  
2016

世界的に最も権威のあるデザイン賞 “iFデザイン賞2016”  
また、国内ではグッドデザイン賞2016を受賞しました!!

1 使いやすさを追求した眠気検知センサー

2 機械学習による個人の特性に対応した高い検知精度を実現

3 ドライバーと運行管理者が共生した安全運転マネジメントを実現

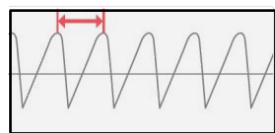
# FEELythmの技術

- 耳に装着したセンサーから取得したバイタルデータを、当社独自のアルゴリズムにて運転者自身も気づかない予兆の段階の眠気を検知。

## 眠気検知システムの原理



- 自動キャリブレーションにより、ドライバーに合わせて眠気判定基準値を自動で設定
- 自動学習機能により、個人差や日々の状態による精度のばらつきを解消し、より正確に個人の感覚に近づいた検知を行う。



ドライバーに合わせて  
眠気判定の基準値を記憶

学習機能で  
眠気判定の基準値を更新



センサー装着時にドライバーと紐付け  
最適な眠気判定の基準値をダウンロード

# FEELythmの導入効果

## 市場ニーズ

- ・ 人手不足/高齢化
- ・ 高まる事業主の管理責任

### ドライバー視点

ドライバーへの注意喚起（安全運転支援）

### 管理者視点

リアルタイムでのドライバーの状態把握が必要

### ドライバー・管理者 双方

個人、潜在要因を捉えたより効果的な安全運行指導/対策に繋げたい

## FEELythmの導入効果

**ドライバーへのメリット**（安心安全(増進)、守られている）

バイタルデータから漫然・居眠り運転の**予兆を検知し**  
本人が「**自覚**」を持つことで安全運行をサポート

**傾向分析**から潜在要因を捉え  
疲労軽減と作業効率の向上

**管理者へのメリット**（データ活用による効果的な指導）

ドライバーの状態が「**見える化**」  
リアルタイムな状況把握と対策実施

「**見える化**」された蓄積データより個人特性を捉え  
傾向分析～予知/予防による効果的な安全指導

## ドライバーの状態の分析

## バイタルデータ分析



## 運行管理者からの見える化

## 運行管理システムで提供

